

1) 国際開発コンサルタントの役割

行政が考えた事業を実行に移すにあたって、現地で調査をし、計画を立てる仕事である。行政と民間企業をつなぐ架け橋としての役割があるといえる。また、あらゆる分野の専門的技術者の集団である。

諸外国において仕事をするので、多文化や異なる思想に直面しても柔軟に対応していく必要がある。ときには紛争影響地域でのコミュニティ開発プロジェクトなども行う。国を超えて支援していく際に、現地で実際に活動、指揮するお仕事である。

2) 心に残ったキーワード

「工学は応用科学であり、人のためになる研究を行わなくてはならない。」

学問というものには、新しいものを生み出しているもの、過去を見つめ続けているものなどさまざまなものがある。その中で自分が重要だと考えているのが、人の役に立つ学問となっているかどうかである。人の役に立っている学問は目に見える効果を生みやすいと思われ、感謝されやすい学問でもあると思う。

NTC インタナショナル株式会社代表取締役社長、岩本さんのやってきたお仕事は、直接人々に還元されるお仕事であった。岩本さんのお仕事はとても素晴らしいものであると思うし、仕事のやりがい・達成感を味わえることをうらやましく思った。

今回の講義を聴いて強く心動かされたし、今後の自分が目指すべきものの実際の姿をみられた気がする。とてもありがたいお話であった。この経験を存分に生かし、これからの自分の成長のために努力しつづけていきたい。